

前回の主なご意見概要と対応等について

「道路関連の課題」について

- ・道路関連予算がこれからどんどん逼迫していくという前提を認識すべき
→「課題」に「限られた予算」を追加

「基本方針」について

- ・効果的な道路網の構築に関連して、ICT 施工や道路のスリム化等も入れていくべき
→「つなぐ」の「効果的な事業の取捨選択」を「効果的な事業の実施」へ変更（ICT 施工等含める）

「3つの重点分野（Ⅰ～Ⅲ）の妥当性」について

- ・「Ⅰ：健康長寿の暮らし」は特定世代向けの重点分野でよいか。（低炭素の暮らしの方が良い）
→重点分野Ⅰの中に「低炭素社会」の要素を追加。
- ・総合計画の目指す将来像からブレイクダウンして落としこむのが一番シンプル
→総合計画が知事答申されたため、将来像を修正した上で、3分野は前回案を踏襲。

「重点分野Ⅰ：健康長寿の暮らし」について

- ・歩行者優先空間をつくる等の取り組みも目指すべき
→「まちなか道路環境整備」や、通過交通を排除するための「環状道路整備」の中に含める
- ・高齢者等の足となる公共交通の路線を維持していく点が弱い
→「低炭素社会」の項目内で、「バスや鉄道等の利用を促す道路環境整備」を追加
- ・EV 充電器を道の駅に整備してもらいたい。
→EV 充電器の道の駅に設置にかかる記述を追加

「重点分野Ⅱ：県土の強靱化」について

- ・強靱化を考えたときに、一刻も早く回復するという表現が弱い
→「Ⅱ強靱化」の冒頭に記述を追加

「重点分野Ⅲ：観光や産業の振興」について

- ・デザイン面等で、県が統一基準を示すことで、各市町村のとりくみに県全体で筋道が通る
→「広域的な調整」として要素を追加
- ・道路のストック効果（安全・安心、生活の質向上、生産性向上等）の要素をもっと入れるべき
→生産性や安全性、快適性の要素を追加
- ・食（健康長寿の食生活：農・海産物の運搬、災害時の食料運搬等）の要素が必要（中村委員後日意見）
→食も含めた「物流」の要素を追加

「整備効果やまとめ方」について

- ・効果を最大化するには、他部局といかに連携していくかが重要
→他部局との連携について、随所に追記
- ・目標値やロードマップ、役割分担(国・県・市の分け)等を示すべきではないか
→整備効果の数値や、施策が将来像につながる流れを追加